

横浜市福祉サービス第三者評価結果報告書

2017年3月6日

株式会社こどもの森 鴨居北こども園 様

〒 131-0032
所在地 東京都墨田区東向島6-37-4-1002
評価機関名 一般社団法人アクティブ ケア アンド サポート
指定評価機関番号 第11号
電話番号 03-6657-4511
代表者氏名 代表理事 小池一步 印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

事業所名	株式会社こどもの森 鴨居北こども園
報告書作成日	2017年 2月3日 (評価に要した期間6か月)
評価機関	一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート
評価調査員	神機構-932、横浜市-71
評価調査員	神機構-632、横浜市-339
評価調査員	(神機構-、横浜市-)

評価方法

自己評価方法 (実施期間: 2016年 9月28日~2016年11月28日)	評価機関が提供した手引きを参照しながら、園長が作成し、合議の上、自己評価をまとめた。
評価調査員による評価方法 (実施期間: 2016年12月16日~2017年 2月3日)	事前訪問、提出書類、家族アンケート結果並びに訪問調査の結果に基づいて評価調査員が合議し評価結果をまとめ、評価委員会で決定した。
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間: 2016年11月11日~2016年11月28日)	保育園から家族へ調査票を配布してもらい、記入後評価機関へ直接郵送する方式により回収した(102人(世帯)中62人(世帯)、回収率61%)。
利用者本人調査方法 (実施期間: 2017年 1月26日~2017年 1月27日)	訪問調査において、評価調査員が分担してこどもの遊びや生活の様子を観察し、必要に応じ職員や子どもに質問した。

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書のうち、

- 横浜市が定める部分を公表することに同意します。
- 別添えの理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添えの理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

全体の評価講評

特に良いと思われる点
裸足保育や体操教室、縄跳び大会など健康づくり、体力づくりに取り組んでいます
本年度、保育課程の作成に関する職員ミーティングで、子どもの発達段階や様子、クラスの特徴を踏まえて各クラスから計画が発表されました。保育園全体に共通するプログラムとして、リトミックやムーブメント(動きを通して体と頭(思考)と心(感性)の発達を援助する)、エコ活動、地域活動などを加えることが話し合われました。裸足保育の実践をはじめ、毎日の園庭遊び・戸外活動、1日2回の散歩を実行し、幼児期の健康・体づくりに取り組んでいます。外部講師が指導する3歳児以上の体操教室を行い、さらに、本年度は5歳児の縄跳び大会を予定しています。年長の子どもが縄跳に励む姿を見て、年少の子どもに広がり、園庭で2歳児が真剣に縄に向かって跳んでいる姿が見られました。
地域との交流を進め、アンケート結果を掲示するなど、開かれた運営に努めています
毎週金曜日を園庭開放の日と決め、地域の子育て中の保護者と触れ合いながら、保育園に対する意見や要望を聞いています。地域の子育て支援として、一時保育や交流保育、世代間交流、ビデオの貸し出しなどを行っています。一時保育は、産休明けから利用できるため、登録者数が増加しています。近隣の保育園や幼稚園、小学校との保育も進めています。隣の会社や消防署の大人とも世代を越えて交流しています。行事案内のポスターを最寄り駅の掲示板や保育園の門に貼り出し、地域の人々に参加を呼びかけています。運営会社(以下、本部という)が実施している保護者アンケートや第三者評価の結果を整理して、玄関に掲示するなど、開かれた運営に取り組んでいます。
人材育成に努め、名刺サイズのカードをコミュニケーションツールとして活用しています
人材育成の手段として、本部・外部・園内の研修、園長との個人面談のほか、独自のカードを活用しています。独自に作成したカードは、名刺サイズの大きさで、表に当月の目標を記入します。例えば、ある職員が「こどもの気持ちを受け止め、一人一人に丁寧に関わるようにする。」と記入し、ロッカーに貼っておき、常に確認し自覚するようにし、また、裏面に前月の反省を記入します。園長が個人面談の際にコミュニケーションツールとして活用し、職員の成長を確かめ、必要な助言や指導を行います。研修参加は、園長が職員の意向を聞き、決めています。本部の合宿研修では、人としてあり方や保育士としてのあり方などを学んでいます。
さらなる改善が望まれる点
保護者への理念、保育方針・目標の徹底を図り、共通認識に基づく園運営が期待されます
保育園の目標や方針は、「入園のしおり」に記載し、入園面談や懇談会で説明しています。また、保育園内にも掲示しています。今回の利用者家族調査では、「この園の保育目標・保育方針を知っているか」という問いに対し、「よく知っている」「まあ知っている」と答えた人は78%で、これに対し、「どちらとも言えない」「あまり知らない」「まったく知らない」と答えた人は20%を越えました。職員にはテストを重ねるなど、理解の徹底を図っています。認識されていないとみられる保護者に、どのように働きかけるか、共通認識を深めるための検討が期待されます。
車道に面し、不審者や子どもの飛び出しに対する対策の検討が期待されます
「安全管理マニュアル」をはじめ、「安全点検表」、「防災訓練年間計画」を作成するなど、事故や災害に備えた安全対策に取り組んでいます。緊急通報先や連絡体制を各保育室に掲示し、全職員の役割分担を周知しています。入り口の扉は暗証番号式鍵を取り付け、暗証番号を入力しなければ開きません。道路に面した門扉の鍵の管理と併せて、子どもの急な飛び出しに対する工夫など保護者の不安を払しょくする対策の検討と実行が期待されています。
外部要因の分析とその対策を織り込んだ中期経営計画の検討が期待されます
本部の教育経営計画書をもとに、今後3年後を見通して、中期的な計画を策定し、毎年見直しています。計画は、開園から6年目を迎え、保育園の基礎を固めるとし、①職員のレベルアップを図ること、②保護者とのコミュニケーションを強化すること、③研修の充実などを挙げています。しかし、保育園の周辺に発生した新たな問題や、中小工場が多い地域に立地していることなどから起こりうるリスクを想定した、外部環境の分析とその対策を織り込んだ中期計画の策定が必要ではないか、本部の支援を受けて検討することが期待されます。

丸 明代

横浜市福祉サービス第三者評価 分類別結果

評価領域 I 利用者(子ども本人)の尊重

評価分類 I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成

評価項目 I-1-1(1)

保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのになっており、全職員が理解し、実践しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのとなっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員が基本方針を理解している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスの実施内容は、保育の基本方針に沿っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-1-1(2)

保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は子どもの最善の利益を第一義にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の基本方針や家庭の状況、地域の実態、周囲の環境を考慮して作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程の作成にあたっては、全職員が関わっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は、入園時や年度当初には必ず保護者に説明している。また、改定した時には随時保護者に説明している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-1-1(3)

日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育計画に基づき、年齢ごとに指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 理解できる子どもには、必要なことをきちんと説明し、納得できることを大切にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 態度・表情などから子どもの意思を汲み取り、言語化できる子どもからは意見・要望を聞いている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの意見・意思を指導計画の見直しに活かし、子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるような指導計画となっており、計画には柔軟性を持たせている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類 I-1 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
「保護者の方が子育てしやすいように」と願い、家庭的な、温かな保育園を目指しています	A
本部の理念「子育てしやすい社会に変えていく」を基本に、「子ども達の笑顔あふれる居心地のいい園」を目指しています。園内に掲示するとともに、職員にはミーティングの際に確認し、テストを実施するなど理解を徹底しています。保護者には、園のしおりや「おたより」に掲載して伝えているほか、個人面談で説明しています。保護者に負担をかけないように子どもの持ち物を減らす工夫をしています。挨拶を交わし子どもの笑顔を引き出す取り組み、基礎体力を育てる取り組み、保護者へのサポート力を高める取り組みを行っています。	
保育課程に、安心・安全活動、食事、エコ活動を取り入れ、実行しています	
保育課程は職員全員で保育園の方針に沿うように検討し、策定しています。本年度は、安全・安心活動として、乳幼児突然死症候群を予防するための機器の導入、添加物を使わない食事、エコ活動の実施を加えました。高齢者施設の訪問、小学校及び地域の保育園との交流や地域活動に取り組みます。保育のうえで、各クラスの方針にリトミック、ムーブメント、3歳以上は、さらに、体操教室、英語教室を取り入れることを確認しています。保育課程の内容は、各クラスの指導計画に反映させています。保育課程は、保護者との面談時に説明しています。	
何をするかを子どもと話し合い、主体性を尊重して取り組んでいます	
保育課程をベースに、各クラスの年間指導計画、月間、週案、日案を作成しています。0・1・2歳児及び配慮を要する子どもには、個別指導計画を作成しています。理解できる子どもには、言葉と併せて実物や図鑑を見せて説明したり、芋掘りを体験した後に絵を描いて表現力を養っています。また、0・1・2歳児は、成長に合った行動や表情から子どもの意思を汲み取り、指導計画に反映しています。3・4・5歳児は、発表会に向けて絵本「お菓子の国」を選び、劇にして内容や役割を子どもたちと話し合っていて決めています。また、芋掘りの後、子どもの要望からクッキングでポテトサラダを作るなど、子どもの主体性を尊重しています。	

評価分類 I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施

評価項目 I-2-1)

入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に面接している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの様子をよく観察している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園までの生育歴や家庭での状況を把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 面接時に把握された記録は、日々の保育に活かされている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-2-2)

新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮保育(ならし保育)が必要な場合は保護者への説明を十分行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 0、1歳の新入園児に対しては個別に主担当保育者が決まっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが心理的拠り所とする物の持ち込みができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性の視点から、保護者へのていねいな連絡をノートで行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 在園児への配慮がなされている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1～2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-2-3)

子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの発達や状況に応じて指導計画の作成・評価・見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、複数の職員が参画して作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、保護者の意向も反映している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-2 評価の理由(コメント)

評価
<p>面談や児童票などを通して、子どもの発達や健康状態を把握しています</p> <p>入園前に、園長、主任、栄養士などが保護者と子どもに面談し、面接チェックリストを用いて、発達や健康状態を確認し、記録しています。その際、保護者と子どもの写真を撮り、入園を待つ言葉を添えて送っています。その写真や記録を職員全員が把握し、保育に反映できるように備えています。保護者が記入された児童票、健康台帳、緊急連絡票を確認し、個人ファイルに綴じています。面接時に把握した子どもの離乳食、食事、排泄、睡眠、食物アレルギーなどの情報を指導計画に反映するとともに、保育に生かしています。</p>
<p>新入園児の受け入れ時、慣らし保育など不安を軽減するように取り組んでいます</p> <p>慣らし保育について、入園前面接で説明し、保護者と調整したうえで、その期間中は昼休み時間に保護者へ子どもの状況を伝えるなど不安軽減に努めています。0～2歳の新入園児の担当職員を決め、個別計画を作成し、おむつ替えや食事を担当しています。タオルなど家庭で馴染んできたものの持ち込みも基本的には認めていませんが、子どもの状態が安定するまでは可能としています。連絡帳は、全クラスで使用し、0・1・2歳児は複写式で記録を残しています。入園当初の4月は、在園児とは別の保育を行い、散歩に出かけるなどストレスを感じさせないように配慮しています。</p>
<p>睡眠時間の変更など子どもの発達や保護者の意向を反映し、指導計画を変更しています</p> <p>個人面談や連絡帳、送迎時の会話などから保護者の意向や希望を把握し、一人一人の子どもの姿を捉え、指導計画に反映しています。子どもの足がしっかりしてきたことを確認し、散歩の際、これまで乗っていたバギーから、職員と手をつないで歩くことに変えたり、また、睡眠時間を短縮するなど、柔軟に対応しています。子どもの情報は、クラス担任をはじめ、リーダー、主任、園長など多くの職員が把握し、計画の変更についてはミーティングで周知し、共有しています。特に配慮を必要とする子どもについて、全職員が理解を深め、保護者の意向を踏まえた指導計画を作成しています。</p>



評価分類 I-3 快適な施設環境の確保

評価項目 I-3-1)

子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園の屋内・外とも、常に清潔に保たれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 通風・換気等が確保され、気になる臭いを取り除く工夫をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 施設内の温・湿度の管理が日々適切に行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 陽光を十分取り入れるよう配慮している。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-3-2)

沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 沐浴設備がある(ただし、0歳児保育実施施設)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 温水シャワーの設備がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 沐浴・温水シャワー等の設備の管理や清掃が十分に行われている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-3-3)

子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 低年齢児には、小集団保育が行われるよう、保育室の使い方を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食べる・寝るなどの機能別の空間を確保している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 屋内に異年齢児間の交流の場がある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-3 評価の理由(コメント)		評価
毎日子どもが安全、快適に過ごせる環境を整えています		  
毎日、「保育室点検シート」、「遅番チェックリスト」、「安全チェックリスト」、「安全点検票」などを用いて点検し、清潔や安全の維持に努めています。清掃は、日々の職員配置で担当を決め、最終チェックは遅番職員が行っています。園庭は必ず朝に危険物がないかを確認し、おもちゃは毎日消毒するとともに、安全チェックリストで確認しています。保育室は、適切な温・湿度に設定し、空調設備・空気清浄機などで快適な空間を保てるように管理しています。各部屋とも窓枠が大きく、陽光・通風が十分に入ります。職員に、声の大きさや高さに気を配るように指導しています。		
汗をかいた時や汚れた時に沐浴し、体の清潔を保っています		
沐浴・温水シャワー設備は、使用后必ず清掃しています。使用後の「清掃マニュアル」を沐浴台の上に貼り出しています。毎日、トイレ清掃番の職員が掃除し、最終的に遅番職員がチェックしています。乳児は、汗をかいた時や下痢などで汚れた時、沐浴し清潔を保っています。「衛生マニュアル」を整え、職員全員が閲覧し実践できるようにしています。レジオネラ菌について、全体ミーティングで話し合い、加湿器の水を取り換え、おむつバケツを洗浄するなど清潔を保てるように努めています。		
子どもの発達に応じた保育を進め、異年齢の交流を行っています		
家具で部屋を仕切り、おもちゃは取りだしやすい位置に置き、子どもが遊びやすい、生活しやすい空間づくりを工夫しています。0・1・2歳児は、低月齢と高月齢に分け、0歳の高月齢児は1歳児と過ごすなど発達に応じた保育を行っています。室内を寝食を分けて使用しています。幼児クラスは、食事は2階のランチルームで取り、午睡は各クラスでしています。朝・夕は合同保育とし、異年齢の子どもが交わっています。子どもが少ない夏のお盆の時期や土曜日保育は3・4・5歳児で、0・1・2歳児は雨の日に異年齢保育を行っています。		

評価分類 I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力

評価項目 I-4-(1)

子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 0~1歳児については、個別指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別の目標・計画は定期的(月1回を目安)に見直すのみでなく、子どもの発達状況に合わせ、柔軟に変更・見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別指導計画の作成・見直しにおいて、重要部分を保護者に説明し、同意を得ている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-4-(2)

子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか

判断基準		評価
A	Bに該当した上で、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもや家庭の個別の状況・要望を決められた書式に記録している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園後の子どもの成長発達記録がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの記録内容は全職員が共有できるしくみになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な申し送り事項が記録され、進級時等に伝達されている。	
B	保育所児童保育要録を小学校に送付している。その上で、Aの中で2つ以上に該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する。または、該当しない。	

評価分類 I-4 評価の理由(コメント)		評価
<p>日々の成長を観察し、保護者と連携しながら計画の見直しや変更を行っています</p> <p>0・1・2歳児及び特に配慮を要する子どもには、個別指導計画を作成し、一人一人に応じた保育を実践しています。個別の月間指導計画で、前月の子どもの姿及び今月の保育上の配慮を織り込み、月ごとに評価・反省を行い、記録しています。日々成長する子どものトイレトレーニングや離乳食などを保護者と連携しながら段階的に進めています。子どもの発達状況を確認しながら、随時見直しや変更を行い、きめ細かな援助を行っています。見直しは、連絡帳や送迎時の保護者との会話で説明し、了解を得ながら進めています。</p>		  
<p>一人一人の子どもの記録を整理し、個別ファイルで管理しています</p> <p>入園時、保護者に、児童票、児童健康台帳、緊急連絡票を記入してもらい、生育歴などの子どもの基本情報を把握しています。入園後は、個人面接時のチェックリストをはじめ、面談記録、日々の連絡帳(控え)、歯科健康診査表、経過記録、発達記録など成長記録を個別ファイルにまとめています。個別ファイルは、職員全員が閲覧でき、事務室の鍵付き書庫に保管しています。進級時、経過記録・発達記録をもとに職員間の引き継ぎを行っています。小学校入学の際、子どもの保育所児童保育要録を送付しています。</p>		

評価分類 I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み

評価項目 I-5-(1)

特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	Bに該当した上で、次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	個別のケースについて会議で話し合わせ、記録がある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	最新の情報を職員間で学習し、保育に活かしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	共有する情報は記録され、いつでも確認できるようファイリングされている。
B	<input checked="" type="checkbox"/>	特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢がある。
C		上記のいずれにも該当しない。

評価項目 I-5-(2)

障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	バリアフリーなど、障害児保育のための環境整備に配慮している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者の同意を得て、医療機関や専門機関から助言や情報が得られる体制をとっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	障害の特性を考慮した個別指導計画が立てられている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	障害児保育について全職員で学習し、話し合える体制ができています。
	<input checked="" type="checkbox"/>	障害児と障害のない子どもとの関わりに配慮をしている。
B		Aの中でいずれか3つは該当する。
C		Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。

評価項目 I-5-(3)

虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	虐待の定義が全職員に周知されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	虐待が明白になった場合に、関係機関に迅速に通告・相談する体制を整えている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	疑わしい場合や見守りが必要な場合は関係機関との連携をとっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	家庭支援の必要な保護者を援助し、虐待の予防に配慮している。
B		Aの中でいずれか2つは該当する。
C		Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。

評価項目 I-5-(4)

アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	子どものかかりつけ医の指示を受け、適切な対応を行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	全職員にアレルギー疾患についての必要な知識や情報が周知されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギーにおいては、保護者との連携を密にし、 除去食 を提供している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	除去食 を提供する場合は、誤食事故を防止するため専用トレイや専用食器、名札等を使用している。
B		Aの中でいずれか2つは該当する。
C		Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。

評価項目 I-5-(5)

外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 文化(言語・表現・食事)や生活習慣、考え方の違いを認め尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 文化や生活習慣の違いを他の子どもたちが理解できるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な場合の対応策がある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-5 評価の理由(コメント)		評価
特に配慮を要する子どもや障害がある子どもの個別支援計画を作成し、情報を共有しています		  
特に配慮を要する子どもや障害がある子どもには、個別指導計画を作成し、担当職員を配置しています。職員ミーティングやクラスミーティングで、子どもの日々の動きを報告し、記録を残しています。子どもの特性について話し合い、日常の保育での留意点や工夫点を職員間で共有し、保育に生かしています。外部の専門研修に複数の職員が参加し、最新情報や子どもの理解と対応について学んでいます。研修報告書をまとめ、職員会議で報告するほか、回覧し、共有しています。		
本部の特別支援の先生や地域療育センターの巡回相談で助言を貰い援助に生かしています		
バリアフリー、車いす対応の多機能トイレ、エレベーターの設置、階段の手すりの設置など、障害児を受け入れる設備や環境を整えています。北部地域療育センターや都築区こども家庭支援課の担当職員、本部の特別支援担当職員が来園し、子どもの状況を把握しています。子どもの特性に応じた支援や対応の仕方について助言や指導を受けています。子どもがパニックになった時は、安全や周りに配慮しながら、静かな場所へ移動し、クールダウンして落ち着かせるように対応を工夫しています。		
着替えやオムツ交換時、隠れた部分にも注意し、早期発見に努めています		
「横浜市虐待防止ハンドブック」に沿って、「虐待の種類」や「早期発見のポイント」などについて園長が職員全員に説明しています。日々保護者と会話を通して顔色や疲れなどを感じ取るように気を配っています。着替える時やオムツ交換時に、お尻など隠れた部分も注意して観察し、早期発見に努めています。育児放棄の疑いがあったり、見守る必要に気づいたときは、北部児童相談所や都築区こども家庭支援課の担当職員と連絡を取ります。園庭開放に来園する子育て家庭の保護者と話したり、育児相談日を設けるなど地域の子育て家庭の支援に取り組んでいます。		

評価分類 I-6 苦情解決体制

評価項目 I-6-(1)

保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 第三者委員に、直接苦情を申し立てることができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して、意見箱・懇談会・アンケート等で進んで要望や苦情を聞いている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自分で意見を表明するのが困難な園児や保護者に対して具体的な配慮がなされている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 権利擁護機関など他機関の苦情解決窓口を紹介している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 要望・苦情を受け付ける担当者が決まっており、事前に保護者に説明されている。	
C	要望・苦情の受付窓口が明確にされていないなど、取り組みが不十分である。	

評価項目 I-6-(2)

要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 第三者委員を交えて対応する仕組みができている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園単独で解決困難な場合には、外部の権利擁護機関や相談機関との連携体制がつけられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要望や苦情の解決策が会議等を通じて職員に理解・周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 過去の苦情・トラブルや要望のデータを蓄積・整理し、解決に活かしている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 要望や苦情を受け付け対応するためのマニュアル等文書化されたものが整備されている。	
C	マニュアル等文書化されたものが整備されておらず取り組みが不十分である。	

評価分類 I-6 評価の理由(コメント)		評価
密にコミュニケーションをとるなど、要望や苦情を言いやすい雰囲気作りに努めています		  
<p>要望や苦情などを受け付ける仕組みは、重要事項説明書に記載し、保護者に説明しています。また、意見箱と本部あてのはがきを玄関に置くなど、園長が苦情解決責任者となって対応しています。本部事務局や第三者委員にも相談できることを伝え、連絡先の電話番号を玄関に掲示しています。保護者の要望や苦情を聞くために、行事後のアンケートや個人面談(年2回)を行っています。普段から保護者と密にコミュニケーションをとるように心がけ、要望や苦情を言いやすい雰囲気作りに努めています。</p>		
<p>苦情や要望を迅速に解決できる仕組みがあります</p> <p>「苦情マニュアル」を備え、いつでも閲覧できるようにし、全職員に周知徹底しています。要望や苦情の受付担当者は主任、解決責任者は園長とし、また、第三者委員に相談することもできます。苦情対応手順は、①苦情を受け付けたら問題点を明確にし、次いで②苦情原因の究明、③解決策の提案、④同意された解決策の実施、そして、⑤是正・再発防止措置の検討、⑥対応の経過と結果の記録としています。保育園単独で解決が困難な場合は、本部と相談するほか、内容に応じて外部の機関と連携して解決に当たります。近隣の小学校に児童相談所などの関係者が集まり、ネグレクトの状況などについて話し合い、情報を共有しています。</p>		

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類Ⅱ-1 保育内容

[遊び]

評価項目Ⅱ-1-(1)

子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど)ができているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがおもちゃや教材等を自分で取り出して遊べるようになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 年齢や発達にふさわしい環境構成に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがそれぞれ落ち着いて遊べる環境を確保している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自分の好きなことをして遊び込める時間が十分に確保されている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(2)

遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの自由な発想を受け止め、それを集団活動に取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがそれぞれ自由にごっこ遊びをしたり、落ち着いて一人で遊んだりしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉活動は、みんなで一緒に遊ぶ楽しさとともに、友だち関係やルールを守る等の社会性を重視して、年齢に応じて取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由遊びの中で一人ひとりが興味・関心を持って遊べるよう、保育士が援助している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(3)

動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 栽培や飼育を通して得られる体験を、保育活動にフィードバックしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもたちが散歩等で、日常的に地域の大人や子どもたちと挨拶・会話を交わしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園外活動で地域を知り、自然に触れる機会を積極的に設けている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-(4)

子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの年齢や発達状況にあわせて自由に表現できるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自発的に表現するよう様々な素材を用意するなど、自由に使えるよう配慮されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自由に歌ったり、絵を描いたりしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-(5)

遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども同士のけんか等については、危険のないよう見守りながら、子ども同士で解決ができるよう援助している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 異年齢の子ども同士が関わりを持てるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員は、常に公平で温かい態度・言葉遣い等で子どもに接し、信頼関係を築いている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-(6)

積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や屋外活動などを積極的に取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や屋外活動などを行う際には、紫外線対策やアレルギーへの対処を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 発達段階に応じて、運動能力を高められるような遊びの環境を意識してつくっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの既往歴や健康状態に合わせた遊びを工夫している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-1(1) [遊び] 評価の理由(コメント)	評価
<p>子どもの発達に応じ、それぞれの遊びに合った環境を整えています</p> <p>広い保育室を子どもの背丈に合わせた低い棚で仕切り、クラス単位の空間にしています。棚には、子どもの荷物やおもちゃが入っています。乳児室は、乳児の背丈の高さの棚で囲み、畳やカーペットを敷き、棚から自由におもちゃを取り出して遊んでいます。幼児の保育室には、テーブルやイスを置き、折り紙、ぬりえ、パズルなどのテーブルコーナーを作っています。積木、ブロック、ままごと、絵本、その他の教材を子どもが自由に遊べる環境を整えています。子どもの発達や季節を考慮しておもちゃを入れ替え、収納場所におもちゃの写真を貼り、自分で片付けができるように工夫しています。遊びの時間は、朝、夕及び日中活動の中に設定しています。</p>	
評価項目Ⅱ-1-1(2) [遊び] 評価の理由(コメント)	
<p>遊びの様子を見ながら子どもが興味を持てるよう援助しています</p> <p>数冊の絵本のなかから子どもたちが1冊を選んで発表会の劇をすることにしました。その役割、振り付けなどを子どもと話し合いながら決め、自主性や意欲を引き出しています。ままごとコーナーでは、お父さん、お母さんなど好きな役割を受け持ち、料理を作ったり、赤ちゃん人形の世話をしたり、かいがいしく動きまわっています。3・4・5歳児には、外部講師による英語や体操の指導を行っています。合同保育の時間、各テーブルに職員がつき、遊びの様子を見ながら子どもが興味を持って遊べるように援助しています。</p>	
評価項目Ⅱ-1-1(3) [遊び] 評価の理由(コメント)	
<p>栽培や飼育、散歩など自然や社会と触れる多くの機会を作っています</p> <p>園庭横のプランターで、4・5歳児がチューリップを植えています。夏には、3歳児も加わって、オクラ、枝豆、きゅうりを育て、収穫しました。園内で、カブトムシを飼い、アゲハ蝶がさなぎから脱皮する様子を皆で観察し、感動が広がりました。3・4・5歳児は、毎日2回、散歩を含む戸外活動を行っています。0・1・2歳児は園庭で遊び、散歩では公園のほか、大型ショッピングセンターへ出かけて社会見学をしています。周辺の鶴見川の土手を散歩し、河川敷に降りてボール遊びを楽しむなど自然に触れる機会を作っています。散歩途中で出会う人や隣接の工場の人と挨拶を交わすなど様々な人と交流しています。</p>	  
評価項目Ⅱ-1-1(4) [遊び] 評価の理由(コメント)	
<p>発達に応じて自分の気持ちを自由に表現できるように援助しています</p> <p>乳児室には、床からおもちゃ箱があり、手づくりの布おもちゃやブロックなどが入っています。遊びの時間は、自由に取り出し、絵本を何冊も見ている子ども、買い物かごを持ってアヒルを引っ張る子ども、職員に抱かれて満足げな子どもなど思い思いに楽しんでいます。幼児は、ハサミと糊、色鉛筆などを使って表現活動に取り組んでいます。廊下には、節分に向けて、発達に応じた作りで表情豊かな鬼の面が貼られていました。毎朝、幼児はリズム体操や歌、手遊びを行い、乳児はそれに合わせて体を揺らして楽しみます。</p>	
評価項目Ⅱ-1-1(5) [遊び] 評価の理由(コメント)	
<p>毎朝、人と人との接し方の基本を分かりやすく書いた「小さな作法」を読み上げています</p> <p>子ども同士のけんかは、危険な時以外、自分たちで解決できるよう意識的に見守っています。状況を十分に理解できない子どもやうまく表現できない子どもには、職員が援助し、子ども同士で解決できるように配慮しています。朝夕の合同保育の時間帯、土曜日保育や夏のお盆の時期、3～5歳児は異年齢交流を行っています。数グループに分かれ異年齢で散歩に出かけています。朝の会で、「小さな作法」を子どもが大きな声で読み上げます。「小さな作法」には、人と人との接し方の基本が子どもに分かるように書かれています。また、職員の身だしなみをチェックする問いかけも行っています。職員と一緒に振り返る時間になっています。</p>	
評価項目Ⅱ-1-1(6) [遊び] 評価の理由(コメント)	
<p>多様な戸外活動を取り入れるなど、基礎体力や健康を増進させるように工夫しています</p> <p>朝夕の合同保育の時間、晴天の時、幼児は園庭遊びや屋外でリズム体操を行います。午後、散歩に出かけ、公園でアスレチックやブランコ、鉄棒などに取り組み、体力をつけています。乳児は、朝夕の時間、室内で過ごし、日中は、散歩先で滑り台やブランコをしたり、園庭で砂場遊びをするなど屋外活動を多く取り入れています。全クラスで裸足保育を実施し、足の機能を鍛えています。毎月、3歳児以上は体育の時間を設け、外部講師による年齢に応じた指導で基礎体力をつけています。当日体調の悪い子どもの情報を職員に伝えて気を配り、また、既往症のある子どもには健康観察を入念に行っています。</p>	

[生活]

評価項目Ⅱ-1-1(7)

食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士が、子どもの負担になるほどに残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳児の授乳にあたっては、ほしがる時に、抱っこして声をかけながら与えるようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 授乳する時や離乳食を食べさせる時は、子どものペースを尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自分から食べようとする意欲や行動を大切にしながら、適切な言葉かけや援助をしている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。対象乳児がいない場合は2つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。対象乳児がいない場合は、全くおこなっていない。	

評価項目Ⅱ-1-1(8)

食事の場、食材、食器等に配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある献立や食欲がわくような盛りつけなどの食事作りに配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食事の場としての雰囲気づくりに配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食材や食器の安全性に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの成長・発達や用途に即した食器を使用している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-1(9)

子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの好き嫌いを把握し、盛り付けや調理方法を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士や調理担当者が、子どもたちの食事の様子を見る機会を設けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 残食を調査記録し、献立・調理の工夫に反映させている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-1(10)

子どもの食生活について、家庭と連携しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 献立表を作成し、事前に配布している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 献立作成のポイントを明記した情報提供を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的にレシピを提示し、保護者に園で提供する食事に対する関心を促している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者が試食できる機会等を設けて、栄養・味付け・食べ方(噛み方)等、園で配慮していることを知らせている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-1(11)

午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 眠れない子ども、眠くない子どもには午睡を強要せず、静かに過ごさせるなど柔軟な対応をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 安心して心地よい眠りにつけるよう、午睡・休息の場を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児突然死症候群に対する対策を行っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> 年長児には適当な時期から午睡を一斉活動としていない。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-1(12)

排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの排泄のリズムをとらえ、個人差を尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> トイレトレーニングは一人ひとりの発達状況に応じて個別に対応している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園での排泄状況を保護者に伝え連携を密にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> おもらしをした子どもを激しく叱ったり、心を傷つけるような対応をしてはならないことを、全職員が認識している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(7) [生活] 評価の理由(コメント)	評価
<p>子どもが食べ物に興味をもち、食事を楽しむように工夫しています</p> <p>嫌いな食べ物は無理強いせず、量を減らして「一口食べてみようか。」「おいしいよ。」などと優しく声をかけ、少しでも興味を持つように工夫しています。授乳や離乳食を食べさせる時も、子どものペースに合わせています。挨拶、机拭き、コップを配るなど当番活動があり、片付けも年齢に応じて行っています。おにぎり、のり巻き、パン作りなど、2～5歳児にはクッキングを取り入れています。秋の芋ほり収穫した芋を調理したり、ハロウィンやクリスマスのクッキー、ピザ、サンドウィッチ作りなど年間を通して様々な機会を作り食育に取り組んでいます。</p>	
評価項目Ⅱ-1-(8) [生活] 評価の理由(コメント)	
<p>食材にこだわり、食器、食事の場の雰囲気気を配り、安全な給食作りを心がけています</p> <p>旬の野菜を取り入れた献立を作っています。野菜は無農薬の国産にこだわり、毎日専門業者に届けてもらいます。本部から放射能検査に適合した産地の情報がFAXで送られてきます。それを参考に、食材を注文します。出しも手作りで、添加物を使わない安全な給食作りを心がけています。食器は、磁器製のものを使用しています。テーブルに小さな植物を飾ったり、音楽を流すなど食事の場の雰囲気作りを気を配っています。箸の使い方を練習し、4・5歳児は上手に使っています。</p>	
評価項目Ⅱ-1-(9) [生活] 評価の理由(コメント)	
<p>子どもの喫食状況を把握し、献立や調理法に生かしています</p> <p>毎月1回、職員全員で給食会議を開き、子どもの嫌いなものや食材、味付けなどを検討し、調理形態や大きさを工夫しています。子どもは見た目から入ることも多いことを考え、彩り、高さや形に気を配った盛り付けを心がけています。毎週3回、栄養士が食事時間に各クラスの様子を観察し、食事と一緒に食べています。各クラスに残菜用容器を置き、食べ残しの状況を把握し、記録しています。こうした記録も参考に、和え物の組み合わせを変えるなど残菜を減らすように工夫しています。</p>	
評価項目Ⅱ-1-(10) [生活] 評価の理由(コメント)	
<p>毎月、給食だよりや献立表を配付し、食事に関する情報を伝えています</p> <p>毎月、献立表を作成し、保護者へ配付しています。離乳食についても、毎月、前期食、後期食、完了食の献立表を配付し、食材を細かく伝えています。給食だよりを毎月配付し、栄養に関することやおすすめレシピなどを掲載しています。玄関に給食の見本を展示し、保護者と子どもの会話の糸口にもなっています。保育参加や誕生会の日、保護者に給食の試食をしてもらっています。試食後のアンケートでは、「とってもおいしかった。薄味で参考になった。」などの感想が寄せられました。保育参加の際、栄養士も保護者と話をし、質問に答えています。</p>	 
評価項目Ⅱ-1-(11) [生活] 評価の理由(コメント)	
<p>乳幼児突然死症候群に向けて乳幼児体動モニターを設置し安全に配慮しています</p> <p>午睡時は照明を落とし、カーテンを一部閉めますが、子どもの顔が分かる明るさを保っています。オルゴールやクラシック音楽を流しています。眠れない子どもには、優しくトントンしたり、絵本を読んで眠りを誘います。午睡中、安全に配慮して乳幼児体動モニターを設置しているほか、0歳児は乳幼児突然死症候群(SIDS)チェックを5分ごとに行っています。眠くない子どもには午睡を強要せず、コット(簡易ベッド)で横になって体を休めるように促しています。5歳児クラスは、10月から少しずつ午睡時間を減らし、就学に向けた準備に取り組めます。また、散歩で、手をつながずに歩いてみる、上履きを履く練習をするなど、生活リズムをつくるように援助しています。</p>	
評価項目Ⅱ-1-(12) [生活] 評価の理由(コメント)	
<p>トイレトレーニングは子どもの発達状況に応じて進めています</p> <p>トイレトレーニングは、保護者と話し合いながら、無理なく進めますが、2歳になった時点で保護者に声をかけています。家庭と保育園の様子を連絡帳、送迎時、個人面談などを通して情報を交換しています。保護者がトイレトレーニングを急ぐ場合は、子どもの排尿の間隔や頻度を確認し、間隔が短い場合は様子を見ることを助言しています。担任以外の職員もトレーニング表で状況を把握しています。もらした時は、子どもの気持ちに配慮した援助を素早く行うことをミーティングで話し合い、実践しています。</p>	

評価分類Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理

[健康管理]

評価項目Ⅱ-2-(1)

子どもの健康管理は、適切に実施されているか。

判断基準		評価
次の全てに該当する。		A
<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの健康状態を把握している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	既往症について常に保護者から情報を得られるように努め、対応を関係する職員に周知している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて園での子どもの健康状態を保護者に伝え、降園後の対応について話し合っている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	食後の歯磨き指導を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-2-(2)

健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。

判断基準		評価
次の全てに該当する。		A
<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの健康診断・歯科健診の記録がある。	
<input checked="" type="checkbox"/>	健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝え、連携を密にしている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	健診結果に基づき、嘱託医やかかりつけ医との連携を図っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-2-(3)

感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

判断基準		評価
Bに該当したうえで、次の全てに該当する。		A
<input checked="" type="checkbox"/>	登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応がマニュアルに明記され、保護者に周知している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	保育中に発症した時は、保護者への連絡をすみやかにし、対応については保護者の事情も考慮している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	感染症が発生した時は、速やかに保護者に情報提供している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	感染症に関する最新情報を職員が共有している。	
B	感染症等への対応に関するマニュアルがある。	
C	感染症等への対応に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。	

評価分類Ⅱ-2 [健康管理] 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>児童健康台帳や身体測定記録に、子どもの健康状況が分かるように記録しています</p> <p>「健康管理保健年間計画」及び「健康管理マニュアル」を用意し、子どもの健康と安全を守り、健やかに生活できるように方針を定めています。一人一人の健康状態を把握し、個別の児童健康台帳に、健康状態や既往症、かかりつけ医、予防接種の状況などを記録しています。毎月身体測定を行い、成長の状態が分かるようにシール帳に貼ったり、カードに書いて保護者へ渡しています。登園時に、子どもの様子や健康状態を確認しています。日中に体調が変化したときは、熱は37.5℃を目安とし、顔色や動悸、湿疹など通常と異なる子どもの様子を見ながら保護者に連絡しています。</p>	
<p>子どもの体調変化の時は静かに過ごし、必要に応じて保護者に連絡します</p> <p>健康診断は毎年2回、歯科健診は毎年6月にそれぞれ実施し、その結果を個人ファイルに保管しています。健診結果は、保護者に書面で知らせています。入園のしおりに登園停止の病名を記載し、併せて登園停止の感染症など罹患した場合は、医師の治癒証明書を登園時に提出してもらうことを伝えています。保育中に感染した場合、保護者へ連絡したうえで、事務室で休養させ、状況によっては医療機関で診察を受けます。感染症の発生状況は、玄関に掲示し、保護者へ注意を促しています。感染症研修に参加し、最新情報を入手して園内で共有しています。感染症マニュアルを備え、ノロウイルスなどの処理と対応の仕方をシュミレーションしています。</p>	
<p>健康を維持する基本的な習慣を身につけるように援助しています</p> <p>体の清潔に気を配り、裸足保育や薄着の習慣を身につけることを奨励しています。早寝早起きの習慣や朝ごはんを食べ、排泄を済ませてから登園する習慣を呼びかけています。食後の歯磨き指導は、4歳児から実施しています。歯磨き講習会に職員が参加し、歯の磨き方を学んできて、職員間で勉強会を行いました。毎年6月4日の虫歯予防デーには、正しい歯の磨き方を子どもに指導しています。また、歯磨きに関する紙芝居や絵本を読み、歯をバイ菌から防ぐ方法を分かりやすく話しました。</p>	

[衛生管理]

評価項目Ⅱ-2-(4)

衛生管理が適切に行われているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルは、職員参加により定期的(内容により異なるが、最低年1回を目安)に見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルの内容を全職員が共有するため、定期的(採用時に1回、採用後は最低年1回)に研修を実施するなど、具体策を講じている。	
<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルに基づき清掃等が行われ、清潔・適切な状態が保たれている。		
B	<input checked="" type="checkbox"/> 衛生管理に関するマニュアルがある。	
C	衛生管理に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。	

評価分類Ⅱ-2 [衛生管理] 評価の理由(コメント)		評価
清掃担当は、日々の職員配置で決め、最終チェックは遅番職員が行っています		  
最新情報を取り入れた衛生管理マニュアルを用意しています。マニュアルは、定期的に見直し、変更した際は、ミーティングで説明し、全職員に周知しています。新入職員には、1対1で掃除の仕方を指導しています。清掃担当は、日々の職員配置で決め、最終チェックは遅番職員が行っています。掃除チェック表により、清掃の完了状況を確認できます。保育室に、乾湿計を取り付け、0・1歳児はSIDSチェック表に湿度を記録しています。トイレや子どもの手洗いに、手拭きペーパーを用意するなど、感染に配慮しています。		
「環境整備チェックシート」で机や椅子の脚を拭くなど10分清掃を行い、清潔を保っています		
通常の清掃以外に「環境整備チェックシート」に従って常に清潔な状態を保てるように清掃、洗浄や消毒を行っています。昼に10分でできる掃除を行い、机や椅子の脚まで清潔を保っています。玩具は、毎日アルコール消毒をし、また、各トイレに消毒液を備えています。毎日16時から、すべての部屋を掃除しています。窓のサンや壁のふちなどほこりがたまりやすいところに特に目を向けて掃除をしています。換気扇、エアコンのフィルターは、男性職員が月1回掃除しています。職員は衛生管理の講習会に参加し、最新情報を入手し、重要事項を学んでいます。		

[安全管理]

評価項目Ⅱ-2-(5)

安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地震等を想定し、備品等の転倒防止など安全対策を講じている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルは、事故や災害に適切に対応しており、全職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急連絡体制が確立している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 通報や連絡体制の予行演習、地域の避難場所等への誘導などの訓練を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員が救急救命法を身につけている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 安全管理に関するマニュアルがあり、Aの中で3つ以上該当する。	
C	安全管理に関するマニュアルがない。または、Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-2-(6)

事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者や救急機関、地域への連絡体制が確立している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どものケガについては、軽傷であっても必ず保護者に状況を報告し、記録している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員会議などで事故の報告、再発防止策の検討が行われ改善策が実行されている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-2-(7)

外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者等の侵入防止策(出入り口の施錠等)が講じられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者等に対する緊急通報体制が確立されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者の情報が関係機関、近隣住民等から得られるネットワークができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅱ-2 [安全管理] 評価の理由(コメント)	評価
<p>防災訓練で、地震、火災、不審者対応、総合訓練を1年を通して行っています</p> <p>「安全管理マニュアル」をはじめ、「安全点検票」、「防災訓練年間計画」、「防災分担表」などを用意し、事故や災害に備えた安全対策を実施しています。防災訓練で、地震、火災、不審者対応、総合訓練を1年を通して行っています。毎月、隣接の会社と同じ日に、避難訓練を実施しているほか、年1回、4・5歳児は地域の広域避難場所「茅ヶ崎公園」へ歩いて避難しています。地震に備えて家具の転倒防止のため、耐震ジェルやつつぱり棒を使用しているほか、ロッカー上のデスクにも耐震ジェルを使用しています。緊急通報先や連絡体制を各部屋に掲示し、全職員に役割を周知しています。震災時、メール連絡網や災害ブログで保護者に連絡する仕組みを整えています。</p>	  
<p>事故やけがに迅速に対応する態勢を整え、実践しています</p> <p>事故やけがに対応できる近隣の医療機関の連絡先一覧を事務室に掲示しています。保育中のけがで、医師の診察・治療が必要な場合は、保護者に連絡するとともに、医療機関へ連れて行きます。保護者に、小さなけがでも必ず報告し、翌日家庭での様子を聞いています。職員には、ミーティングで報告し、共有します。事故の再発防止策を話し合い、他の保育園で起きた事例を取り上げるなど事故の未然防止や再発防止に努めています。</p>	
<p>周辺に大きな車が走行する状況を踏まえ、門扉周辺への工夫が望まれます</p> <p>玄関扉の鍵は暗証番号式とし、番号を入力しなければ開きません。暗証番号はセキュリティを担保するため、定期的に変更しています。道路に面した門扉は留め具式の鍵で、開いたままの状態や子どもが飛び出す不安があります。登降園時、職員が立つなど安全に配慮していますが、ハード面での安全策が期待されています。不審者に関する通報先を事務室に掲示し、対応する手順・方法などを職員全員に周知しています。不審者や事件に関する情報は、横浜市や都筑区の担当部署、警察署から通報されます。近くで事件が発生した場合は、玄関に掲示するとともに、直接保護者に知らせています。</p>	

評価分類Ⅱ-3 人権の尊重

評価項目Ⅱ-3-(1)

保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもに対して威圧的な言葉遣い、無視が行われないよう、職員間で相互に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> せかしたり強制したりせず、おだやかに分かりやすい言葉で話している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つ該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-3-(2)

必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 友だちや保育士の視線を意識せず過ごせる場所がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもに威圧感を与えず一対一で話し合える場所がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、プライバシーを守れる場所を用意することができる。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-3-(3)

個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 守秘義務の意義や目的を全職員(ボランティア・実習生含む)に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いについてガイドラインをつくり、全職員に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いについて、保護者に説明し了解を得ている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報に関する記録は施錠できる場所に保管、管理している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-3-(4)

虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待の定義が全職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待が明白になった場合に、関係機関に迅速に通告・相談する体制を整えている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 疑わしい場合にも関係機関との連携体制がとれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭支援に必要な保護者を援助し、虐待の予防に配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-3-(5)

性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 順番、グループ分け、整列など性別にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を固定的にとらえた話し方、表現をしないようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 無意識に性差による固定観念で保育をしていないか、職員同士で反省する仕組みをつくっている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅱ-3 評価の理由(コメント)	評価
<p>子どもの人格を尊重するような、様々な配慮をしています</p> <p>子どもに対して威圧的にならないように子どもの目線に合わせて話し、泣いてうまく気持ちを話せない時は、お茶を飲ませたり、抱っこをしたりして、気持ちを落ち着かせてから話を聞くようにしています。クラス担任が抱っこできない時は、フリーの主任が抱っこして対応しています。名前を呼ぶ時、ニックネームや呼び捨てはしないように心がけています。身体測定や水着に着替える時は、個室などで着替えるように話し、身体測定の数値は声に出さないようにしたり、3・4・5歳児に排便の際はドア付きを使用するように指導するなど子どものプライバシーに配慮しています。</p>	
<p>プライバシーが守れるような空間を確保し、個人情報の取り扱いや守秘義務について周知しています</p> <p>各保育室は、扉で仕切り、職員の視線を気にしないで過ごすことができます。事務室では、子どもと1対1で話し合うことができます。プライバシーを守れる場所として、幼児には鍵付きトイレを用意しています。保護者から、個人情報に関する同意書を提出してもらい、職員やボランティア、実習生からは、個人情報保護の誓約書を受け取っています。児童票などの個人情報は個別ファイルにし、事務室からの持ち出しを禁止し、鍵のかかる書類棚に保管しています。</p>	  
<p>子どもに対する性差、職員間の性差がないように、点検しています</p> <p>子どもたちの遊びや行事では、やりたいものを選ばせ、遊びもコーナーに分け、自由に選んで遊べるように工夫しています。折り紙も好きな色を自由に選ばせています。職員が着用するポロシャツの色も男女を区別していません。順番やグループ分けは、その日の当番が先頭に並んだり、座る場所も自由にし、性別の意識はありません。また、父親、母親の役割ではなく、家庭と表現するように心がけています。</p>	

評価分類Ⅱ－４ 保護者との交流・連携

評価項目Ⅱ－４－(1)

保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対しては、全体会または懇談会などで説明する機会を設けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して、園独自のアンケートなどで保育方針が理解されているかどうか把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常保育の中で、園だよりや連絡帳などで保育方針が理解されるよう努力している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園時に配布する園のしおりやパンフレットなどに保育方針を明記している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(2)

個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの送迎時に、その日の子どもの様子を伝えるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 連絡帳やメールなどできめ細かに情報交換を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の意向を踏まえて個別面談を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> クラス全体の様子を伝える保護者懇談会等を実施している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(3)

保護者の相談に応じているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談内容などを人に聞かれないで相談できるよう、配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談を受けた職員が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制になっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談は記録し、継続的なフォローができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ－４－(4)

保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 「園だより」など定期的に発行している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園内に、その日の保育の様子を知らせる情報を掲示している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> クラスごとの保護者懇談会などで、保育内容・目的を分かりやすく説明し情報提供を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ビデオや写真などを撮って、日常の保育の様子を伝える努力をしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(5)

保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 年間行事予定であらかじめ日時を知らせ、保護者が保育参加のための休暇等の予定を立てやすくしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育参観または保育参加を積極的に受け入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育参観、懇談会等に出席できなかった保護者へのフォローを行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(6)

保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者が自主的な活動をできるように場所等の提供をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の活動に要請があれば職員も参加をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者組織とは常にコミュニケーションをとっている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅱ-4 評価の理由(コメント)	評価
<p>保護者に、園のしおりやパンフレットで基本方針などを伝えています</p> <p>保育園の基本方針や保育目標は、園のしおりやパンフレットに記載し、入園時に保護者に説明しています。玄関にも掲示して、保護者に伝えています。本部が毎年実施する保護者アンケートは、直接保護者に郵送し、回収も直接回収する方式で行い、回収した資料をもとに、保育園に対する保護者の評価をまとめ、フィードバックしています。本年度、Aランクの高い評価を得ていました。春と夏以降の年2回、個人面談を実施し、園長が保護者に保育園の方針を説明し、理解を求めています。</p>	
<p>個別面談や連絡帳などにより、保護者と情報交換を行っています</p> <p>朝は、玄関に職員を配置して、保護者と直に会話をするように心がけ、特に幼児クラスの保護者は保育室へ入ってこないため、玄関で子どもの様子を確認しています。連絡帳で毎日の保育園での様子を伝えています。乳児の連絡帳は複写式で控えを保管しています。子どもの体調が悪い時は、昼の休憩時間に保護者へ連絡を入れます。個人面談の際、担任との面談に先だって園長が保護者と面談し、保護者の本音を聞くように配慮しています。3月末に、クラス懇談会を実施し、クラス全体の様子を話し合っています。</p>	  
<p>保護者との信頼関係を保つために様々な取り組みを実施しています</p> <p>毎月園だよりを発行し、各クラスの様子を知らせています。当日の様子は、クラス担任がスケッチブックに書いたり、写真を貼り出したりして伝えています。年間行事予定表を前年度末に配付し、詳しい内容や日程は、園だよりや知らせ(プリント)で伝え、変更がある場合は2か月前に知らせを出すようにするなど保護者が参加しやすいように工夫しています。保育参加は、必ずプログラムを作成し、保護者に当日の保育内容が伝わるように配付しています。全体の保護者組織はありませんが、5歳児の保護者会が長年自主的に活動し、保育園は要望があれば協力しています。</p>	

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供

評価項目Ⅲ-1-(1)

地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民との交流の中で、施設に対する要望を把握するための具体策を講じている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業を通じて把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて関係機関や他施設との検討会・研究会を行っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅲ-1-(2)

地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の子育て支援ニーズについて、定期的(年に1回程度)に職員間で話し合われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域での子育てを支援するためのサービス(一時保育、交流保育、園庭開放等)を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民に向けて子育てや保育に関する講習・研修会を開催している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅲ-1 評価の理由(コメント)

評価
園庭開放や園見学、育児相談などにより、地域の子育て支援ニーズを把握しています
園庭開放や行事への招待、園見学、育児相談などを通して、地域の子育て家庭のニーズを把握しています。園庭開放は毎週金曜日に行い、地域の子育て中の利用者に、園内の意見箱と同じ用紙を使って、要望などを聞いています。地域の人々が参加できるように運動会をはじめ、クリスマス会、子育て支援のクッキングなどに呼びかけています。育児相談の実施日を門扉に貼って知らせ、また、一時保育や園庭開放で来園した利用者の育児相談にも応じるとともに、どのような支援を必要としているかを聞いています。
地域の子育て支援ニーズに対し、専門性を活かした支援計画を作成、実行しています
園庭開放の利用者には所定のシートに記入してもらい、登録しています。利用者から要望などが出された時は、伝達ノートに記載し、ミーティングや職員会議で対応を話し合っています。事業計画書や年間行事計画書に、子育て支援活動として園庭開放を織り込んでいます。また、毎月、地域の子育て家庭を対象に、クッキングやお話し会などの子育て支援を実施しています。一時保育を産休明けから行っているため、利用希望者が多く、対応に努めています。近隣の保育園や幼稚園との交流保育、例えば、リトミックを一緒に行うなど、多様化するニーズに対応しています。

評価分類Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能

評価項目Ⅲ－２－(1)

地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報提供や育児相談を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 育児相談については、定期的(最低週に1回)に相談日を設けて対応している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園からのお知らせを地域に回覧するなどして、情報提供に努めている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅲ－２－(2)

相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な関係機関・地域の団体等をリスト化する等により情報を職員が共有している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関との連携の担当者が決められている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関・団体等との日常的な連携ができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅲ－２ 評価の理由(コメント)		評価
最寄り駅の掲示板にポスターを貼るなど、行事や育児相談の情報を提供しています		 
<p>行事や育児相談などの実施予定日や内容を伝えるため、最寄り駅の掲示板にポスターを掲示したり、保育園の門扉に貼り出したり、近隣の人へ配布したり、一時保育の利用者に友人や知人へ伝えてもらうように依頼したりしています。毎週金曜日の園庭開放や育児相談を利用した保護者は、職員の言葉づかいや子どもへの対応の仕方や子どもの様子を観察し、入園希望の保育園の一つに選んでいます。近隣の人々に行事のプログラムを配り、参加してもらっています。一時保育の利用者や卒園児にも、行事のプログラムを送付しています。</p>		
相談内容に応じて、相談できる関係機関と連携しています		
<p>医療機関をはじめ、横浜市北部地域療育センター、近隣の保育園、小学校、食材納入業者などの連絡先を電話機の傍に掲示しています。関係機関との連携は、園長と主任が担当しています。都筑区役所の職員(保育コンシェルジュ、ベテラン保育経験者)が、3か月ごとに来園し、園の様子を見たり、実際の保育の内容の指導、例えば積み木の遊び方などを教えています。</p>		

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類Ⅳ－1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ

評価項目Ⅳ－1－(1)

保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の行事に地域住民を招待している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自治会・町内会、ボランティアグループ等と協力して行事を行うなど、地域の団体、機関と定期的(年1回以上)、計画的に交流を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 小中高等学校など、学校教育との連携を積極的に図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域への施設開放や備品等の貸し出しを行っている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1～2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅳ－1－(2)

子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の文化・レクリエーション施設等を利用している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に地域の人達と接する機会(散歩・買い物等)に積極的に交流を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に他の園・学校・福祉施設等との交流を図っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅳ－1 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>保育園を知ってもらうために、様々な取り組みをしています</p> <p>保育園を知ってもらうために、新年の挨拶をしたり、パレタインの時に近隣の会社を訪問しています。運動会や餅つきなどの行事の際に、園長がプログラムを持って訪問し、参加を呼びかけています。近隣の保育園と、近くの公園で、子どもと一緒にエコの勉強を兼ねてゴミの分別とゴミ拾いに取り組むなど、友好的な関係を築いています。地域の自治会に加入し、地域の祭りや盆踊りに参加しています。都筑区内の保育園見学会や懇談会に参加し、交流を図っています。近隣の会社とは、一緒に消防訓練を実施したり、杵と臼を貸し出したりして交流を深めています。</p>	  
<p>お祭りや盆踊りに参加したり、買い物や散歩などをして、地域の理解を深めています</p> <p>子どもが地域の祭りや盆踊りに招待され、地域の大人や子どもと交わり、楽しんでいます。近くの福祉施設コミュニティセンターを利用し、絵本を借りています。大型ショッピングセンターが近くにあり、子どもたちは買い物に出かけ、近所の人に挨拶をしています。近くの鶴見川の土手や公園まで散歩する時は、ゴミ拾いをして、ゴミの分別やエコを学んでいます。運動会で小学校の校庭を借りることから、予行練習も校庭で行わせてもらい、小学生と交流する機会を作っています。</p>	

評価分類Ⅳ-2 サービス内容等に関する情報提供

評価項目Ⅳ-2-1)

将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> 次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園のパンフレット・広報誌・ホームページ等により、地域や関係機関に随時、情報を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 外部の情報提供媒体に対して園の情報を提供している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 園として、すすんでサービス内容の詳細、料金、職員体制等、必要な情報を提供している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅳ-2-2)

利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の基本方針や利用条件・サービス内容等についての問い合わせに対しては、常時対応できるようになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用希望者に見学ができることを案内している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 保育に支障をきたさない範囲で、曜日や時間は見学希望者の都合に対応している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の基本方針や利用条件・サービス内容等について、パンフレット等の資料や文書に基づいて説明している。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅳ-2 評価の理由(コメント)

評価の理由(コメント)		評価
ホームページやパンフレットなどにより、利用希望者に情報を提供しています		  
<p>本部のホームページで、保育園のおすすめポイントやアクセス、募集要項を紹介しています。見学希望者には、できる限り希望者の都合に合わせて対応しています。園庭開放で来園する利用者やトイレ、オムツの交換のために立ち寄った人にも、パンフレットや園のしおりにより、保育内容を説明しています。パンフレットを都筑区こども家庭支援課や子育て支援団体にも備えてもらい、入園前の保護者に情報を提供しています。パンフレットには、延長料金や年間行事など利用希望者が知りたい情報を記載しています。</p>		
利用希望者の問い合わせに答え、見学に希望を踏まえて対応しています		
<p>電話による問い合わせには、見学を勧めています。見学者に、職員が同じような対応ができるように見学対応マニュアルを用意しています。子どもの声で聞きづらいこともあり、説明は事務室に戻ってから行っています。見学の曜日や時間帯は見学者の都合に合わせてるように配慮していますが、保育園から予め活動、昼食、おやつなどどのような場面の見学を希望するかを聞き、対応するように努めています。職員の言葉遣いや行動を見たいという意向が強く、日中の活動時間の見学が多くなっています。</p>		

評価分類Ⅳ-3 ボランティア・実習の受け入れ

評価項目Ⅳ-3-(1)

ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者にも基本的考え方・方針が理解されるよう説明している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れと育成の担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	ボランティアの感想や意見を園運営に反映させている。
B	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づきボランティアに対して園の方針、利用者への配慮等を十分説明している。
C		受け入れのためのマニュアル等がなく、取り組みが不十分である。

評価項目Ⅳ-3-(2)

実習生の受け入れを適切に行っているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者にも基本的な考え方・方針が理解されるよう説明している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れのための担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	実習目的に応じた効果的な実習が行われるためにプログラム等を工夫している。
B	<input checked="" type="checkbox"/>	実習生と職員との意見交換の機会を設けている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づき実習生に対して園の方針、利用者への配慮等を十分説明している。
C		受け入れのためのマニュアル等がなく、取り組みが不十分である。

評価分類Ⅳ-3 評価の理由(コメント)

評価の理由(コメント)	評価
<p>ボランティアの受け入れを積極的に行っています</p> <p>ボランティア受け入れマニュアルに沿って、ボランティアを受け入れています。マニュアルに、服装や身だしなみについて注意事項を記載し、都度確認しています。ボランティアに、基本方針や保育園の目標を理解してもらうため、園のしおりを配付しています。ボランティアの受け入れは園長が行い、担当についての指導は、入ったクラス担任が行い、主任が全体的な視点でボランティアの活動の様子を見ています。ボランティア活動日誌に、感想や意見を記入し、記録を残しています。活動終了後に意見交換会を行っています。子どもとの触れ合いが楽しかったとの感想がありました。</p>	  
<p>実習生を受け入れ、効果的な実習となるように援助に努めています</p> <p>実習生受け入れマニュアルに従って、受け入れに関する方針などを職員に説明しています。保護者には、実習生が来園し実習することを掲示し、知らせています。受け入れは園長または主任が行い、報告書にコメントを記入しています。実習生には、最初に保育園の方針を説明し、理解したうえで保育業務の実習に入るようにしています。終了後意見交換の場を設け、良い点・改善点などを話し合っています。本部傘下の他の保育園から派遣された職員の場合、何歳の子どもの受け持っているかを確認し、そのクラスに入ってもらい、効果的な実習となるように援助に努めています。</p>	

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類 V-1 職員の人材育成

評価項目 V-1-(1)

保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園運営に十分な人材構成であるかをチェックし、必要な人材の補充を逐次行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の理念・方針をふまえた保育を実施するよう、人材育成の計画が策定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個々の職員の資質向上に向けた目標を毎年定め、達成度の評価が行われている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 V-1-(2)

職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部研修が定期的実施され、職員・非常勤職員とも必要な職員が必ず受講できる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園外の研修会、大会等への参加、他の福祉施設での実地研修等が積極的に行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の成果を職場で活かすための工夫がされている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の成果を評価して、研修内容を常に見直している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の研修ニーズにも配慮し、研修担当者が研修計画を作成している。	
C	園としての研修計画を作成しておらず、取り組みが不十分である。	

評価項目 V-1-(3)

非常勤職員等にも日常の指導を行っているか

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務にあたっては職員と非常勤職員の組み合わせなどの配慮をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員に対し、職員と同様に資質向上への取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員の指導担当者が定められ職員間のコミュニケーションが図られている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員にも業務マニュアルが配布されている。	
C	業務マニュアルもなく、取り組みが不十分である。	

評価分類 V-1 評価の理由(コメント)		評価
保育方針に適合した人材の育成に取り組んでいます		  
<p>人員配置を常にチェックし、子ども数に合った職員を確保しています。クラス担任が休暇を取った時は、フリーの主任が補充に入ります。保育園の理念や方針について、ミーティングで話し合ったり、園長との面接で使用する「スタッフシート」によって確認するなど理解が深まるように努めています。スタッフシートで、職員は、保育の基本的業務や教育経営計画書の理解などについて自己評価を行い、目標、例えば、「丁寧な言葉かけなどの対応力のレベルアップ」の達成度合いを確認しています。日々の保育において、保育方針に沿った保育に努めています。</p>		
<p>内部研修と外部研修で構成した研修計画に沿って、職員は受講しています</p> <p>年間の研修計画に基づいて、非常勤職員を含む職員が受講しています。研修は、本部の研修や園内研修、自治体や関係業界団体などの研修で構成され、内部の研修では、新任者研修や3年目研修、3・4・リーダー研修、5歳児研修など、また、外部の研修では、新卒マナー研修、運動会のための実技研修、救急救命講習などを計画しています。本年度は、衛生管理や体操遊び、乳児保育など研修に参加し、自己研鑽に努めています。受講者は、研修内容をミーティングで報告し、併せて、研修報告書を作成します。研修報告書は、いつでも閲覧できるようにしています。</p>		
<p>非常勤職員にも必要な研修を受講させ、日常の指導を行っています</p> <p>非常勤職員(保育担当1人、調理担当3人)は、常勤職員と組み合わせ業務を行うように配置しています。保育担当の非常勤職員は、常勤職員の指導を受け、保育補助業務に携わっています。調理担当の非常勤職員に対する指導は、栄養士が担当しています。栄養士は、一日を通して非常勤職員に声をかけるなど、コミュニケーションをとりやすい環境を作っています。非常勤職員も、本部主催の研修に参加し、教育経営計画書などの理解に努めています。今後も、必要な研修に参加させる予定です。</p>		

評価分類V-2 職員の技術の向上

評価項目V-2-(1)

職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の振り返りや、保育所の自己評価を計画的に行う仕組みを持っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫・改善した良いサービス事例をもとに、一層のサービス向上を目指した会議・勉強会が開かれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて外部から保育の技術の評価・指導等を受ける仕組みがある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目V-2-(2) ※新規項目

保育士等が保育や業務の計画および記録を通してみずいからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等一人一人が、自己の実践の振り返りをし、文章化できるように計画や記録の書式が定型化されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返りは、計画で意図した保育のねらいと関連づけて行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返りは、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの育ちや意欲、取り組む過程などを重視して行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等一人一人が振り返りを通して自己の実践を評価し、改善やその後の計画作成に反映させている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目V-2-(3) ※新規項目

保育士等の自己評価を踏まえ、保育園としての自己評価を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等の振り返りの結果を互いに報告し合い、話し合っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等の振り返りの結果から、園としての課題を明らかにし、改善に取り組んでいる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園としての自己評価は、園の理念や保育の方針、保育課程に沿って行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園としての自己評価を公表している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類V-2 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)		評価
自己評価を行い、自分たちの保育を振り返り、向上に取り組んでいます		  
職員は、「スタッフシート」を使って、一定期間の業務遂行について自己評価を行い、園長と面談して指導や助言を受けています。また、行事を担当した職員は、行事後に自分が計画し、進めた行事を振り返り、反省しています。本部が毎年傘下の各保育園の保護者を対象にアンケート調査を実施し、その結果に基づいて各保育園を評価しています。保育園は、その評価結果をもとに、職員会議で話し合い、自分たちの保育を振り返り、向上に取り組んでいます。		
自らの実践を評価し、自己やクラス、全体の改善に反映させています		
また、自己評価は、毎月1回実施している「夕方のお話し会」や10分間研修、小テストなどで行っています。夕方のお話し会では、今ある教材を使って子どもに「お話」をする仕方をマスターすることを目的とし、テーマを自分で決め、自分の得意なもの、例えば、紙芝居やマジックなどを話すことによって自分を見直しています。小テストでは、本部の保育理念や良い先生像などを質問しています。年間指導計画や月案に自己評価の欄を設け、その後の計画作成に反映させています。		
全体ミーティングなどで保育園としての自己評価を行っています		
全体ミーティングや昼ミーティングで、保育のやり方の改善点を話し合い、例えば、3歳児は夕方になっても力があって床をドンドン踏みつけたりすることから、マラソンを取り入れるなど体を動かすように工夫しました。また、職員アンケートの拘束時間が長いという意見から、休憩時間を考慮しながらシフトの勤務時間を8時間もしくは8時間半に改めています。保育園の自己評価は、保育理念や保育課程に沿って行い、毎月職員に小テストを実施し、保育理念や保育課程などの理解度を確認し、全体をまとめています。また、保育園のために何ができるようになったか、例えば、ピアノを弾けるようになったと、貢献度を確認しています。		

評価分類V-3 職員のモチベーションの維持

評価項目V-3-(1)

本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者の状況に応じ自主的に判断できるように、現場の職員に可能な限り権限を委譲し、責任を明確化している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員から業務改善の提案を募ったり、意見を聴取するためのアンケートなどを実施している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 個別の面接・調査等により、職員の満足度・要望などを把握している。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類V-3 評価の理由(コメント)		評価
「スタッフシート」や独自のカードを使って、職員のやりがいを高めています		  
「スタッフシート」には、職員に期待する項目を規定し、業務遂行項目として、食事援助や昼寝援助等の項目、さらにケガ病気の処置や保護者とのコミュニケーション、創意工夫などを挙げています。項目ごとに、自己評価を行い、主任及び園長の評価を受けます。また、保育園が独自にカードを作成し、モチベーションアップに活用しています。職員は、カードの表面に月ごとの目標を記入し、自分のロッカーに貼っておき、月末に反省を裏面に記入します。園長は、赤で意欲を引き出すようなコメントを書き込み、励ましています。		
職員満足度調査などを参考に、働きやすい環境づくりに取り組んでいます		
職員との個人面談や全体会議などを通して、意見や提案を聞いています。保育理念や方針の理解度を確認するために小テストを行い、80点以上になるまで繰り返し行っています。本部が、毎年1回職員満足度調査を実施し、意見や要望、提案を把握しています。職員から「拘束時間が長い。」などの意見があり、シフトの勤務時間を調整し、勤務体制の改善を図っています。職員満足度調査の結果を公表し、職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいます。		

評価領域VI 経営管理

評価分類VI-1 経営における社会的責任

評価項目VI-1-1(1)

事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 組織及び職員が不正・不適切な行為を行わないよう守るべき法・規範・倫理等が明文化され職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 経営、運営状況等の情報が積極的に公開されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他施設での不正、不適切な事案を題材とした研修を行い、それらの行為を行わないよう啓発している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-1-1(2)

サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> ゴミ減量化・リサイクルのための取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 省エネルギーの促進・緑化の推進などの取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境への考え方、取り組みが明文化され、運営に活かされている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類VI-1 評価の理由(コメント)		評価
教育経営計画書により、事業者として守るべき法・規範・倫理を周知、実行しています		  
「教育経営計画書」に、本部の保育理念や保育方針、重点方針、保護者への方針、子どもへの方針、そして保育事業に従事する職員の守るべき法・規範・倫理などを記載しています。教育経営計画書は、全職員に配布し、周知しています。保育園の運営に関わる情報は、年度事業計画や年度事業報告で職員に知らせています。他の保育園の不正・不適切な事例を取り上げてミーティングを行い、同様な間違いが起こらないように注意を喚起しています。		
両面印刷、牛乳パックの利用、ソーラーパネルの設置等環境に配慮しています		
文書や記録などの印刷は、両面印刷を原則としています。4・5歳児は、保育にエコを取り入れ、公園でゴミの分別を学び、ゴミ拾いを行っています。また、帰りの会の後に、床のゴミを拾うなど、エコに対する関心を深めています。牛乳パックを利用しておもちゃやイスなどを作成しています。園庭やプランターに花や野菜を植え、緑化に努めています。室内温度を冬は20～24度に、夏は26度に設定しています。屋上にソーラーパネルを付け、省エネを促進しています。		

評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等

評価項目VI-2-(1)

保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針を明文化したものを掲示または職員に配布している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員に朝礼・会議等で周知し、理解を促すための説明をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針を職員が理解できているか、園長・主任が定期的(採用時1回、採用後は最低年1回)に確認している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-2-(2)

重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な意思決定にあたり、園長は保護者と継続的に意見交換をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な意思決定(変更)について、職員及び保護者に目的・決定(変更)理由・経過等を十分に説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 異なる部門の職員による検討チームを編成し組織をあげて取り組むしくみがある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-2-(3)

主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> スーパーバイズのできる主任クラスを計画的に育成するプログラムがある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任が個々の職員の業務状況を把握できるしくみがあり、有効に機能している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任は個々の職員の能力や経験にあわせ的確な助言や指導を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任は個々の職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう、具体的な配慮を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類VI-2 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
教育経営計画書や保育課程などを唱和し、理解を深めるようにしています	  
理念や基本方針を、「教育経営計画書」をはじめ、保育課程、園のしおりに明記し、園内に掲示しています。教育経営計画書には、保護者に対する方針や子どもに対する方針などを明記し、全職員に配布するとともに、毎月の全体会議などで読み合わせ、確認しています。理念や方針は、更衣室やトイレ、事務室に貼って理解を深めるようにしています。	
個人面談や運営委員会などで保護者の意見・要望を聞き、運営に活かしています	
保護者との個人面談(年1回)や保護者代表が参加する運営委員会(年2回)で、保護者の意見や要望などを聞いています。例えば、「レシピを置いてほしい。玄関の段差をなくしてほしい。」などの要望があり、実行しています。保育園の重要な変更がある時は、事前に保護者へ通知するようにしています。行事は、その都度アンケートを取り、保護者の意向を汲んだ内容に改善しています。本部傘下の保育園の職員が、指導役の園長のもとに「園周り研修」を行い、他の保育園の良い事例や失敗事例などを学んでいます。	
主任やリーダーは、スーパーバイザーとしての職務に努めています	
本部は、職員にスーパーバイズができるように主任研修やリーダー研修を実施し、スキルアップと併せてモチベーションアップを図っています。主任は、日々、職員配置を決め、行事や掃除の分担など全体を見て、職員がうまく働けるように配慮しています。リーダーは、保育で職員が創意工夫を發揮できるように指導したり、援助したりしています。主任とリーダーは、職員が心身ともに健康な状態で保育に取り組めるように常に言葉かけに努め、配慮しています。	

評価分類VI-3 効率的な運営

評価項目VI-3-(1)

外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業運営に影響のある情報を収集・分析している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な情報は幹部職員や主要な職員間で共有するため会議等で議論し、重点改善課題として設定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営面での重要な改善課題について、職員に周知し、園全体の取り組みとしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-3-(2)

保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たなしくみを常に検討している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 次代の施設運営に備え、幹部職員は計画的に後継者を育成している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類VI-3 評価の理由(コメント)		評価
事業運営に関わる多様な情報を収集し、重要な情報を全体で共有しています		  
事業運営に関わる情報を、国・市・地域の関係機関などから収集しています。本部から派遣されるコンサルタントからも貴重な情報を入手しています。モデルとなる他の保育園の見学、幼保小連携の幼稚園や小学校見学などからも情報を得ています。こうした様々な情報から選んだ情報や本部の総合的評価の結果など重要な情報を職員に伝え、共有しています。評価結果を職員全員で、さらに良くしていくための話し合いをしています。		
3～5年後を見通した年間及び中・長期の事業計画の検討が期待されます		
教育経営計画書に沿って、策定した中長期計画に、開園6年目を迎えた保育園の基礎を固めるとして、職員のレベルアップを図ること、研修の充実・質の向上、保護者とのコミュニケーションの強化などを取り上げています。しかし、地域で起こった問題や保育園の立地事情など保育園を取り巻く環境、本部が新規重点方針として決めた幼児数の強化など、3～5年後を見通した年間及び中・長期の事業計画の検討が期待されます。		

利用者家族調査の結果

調査の概況

調査対象: 2016年11月現在、在園の子どもの保護者102人(世帯)を対象としました。
 調査方法: 2016年11月11日～2016年11月28日の間、保育園から保護者へアンケート調査票を配布してもらい、記入後評価機関へ直接郵送する方式により回収しました。102人(世帯)のうち、62人(世帯)、回答者割合は61%でした。

結果の特徴

回答者の総合的な感想は、「満足」が57%、「どちらかといえば満足」が40%、合計が97%と高い評価になりました。
 個別の質問に対し、問1「園の保育目標・保育方針を知っているか」は、「よく知っている」が19%、「まあ知っている」が58%、合計が78%という結果でした。
 「満足」の回答が多かった項目は、問4(7)「給食の献立」は74%と最も多く、次いで、問4(8)「給食を楽しんでいるか」、問6(7)「迎えが遅くなる場合の対応」、問7(2)「保育園生活を楽しんでいるか」はいずれも71%でした。
 他方、問5(3)「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」は40%、問5(1)「施設設備」は42%、問6(1)「話し合いの機会」は45%と、いずれも40%台にとどまりました。

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか(○は1つだけ)

よく知っている	まあ知っている	どちらかともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
12	36	5	7	2	0
19%	58%	8%	11%	3%	0%

「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」と答えた人のうち

1-2その保育目標や保育方針は賛同できるか

賛同できる	まあ賛同できる	どちらかともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
40	4	0	0	0	0
91%	9%	0%	0%	0%	0%

■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
2-1 見学の受け入れについては		43	12	1	0	6	0
		69%	19%	2%	0%	10%	0%
	その他	・見学をしていない。					
2-2 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については		40	19	2	0	1	0
		65%	31%	3%	0%	2%	0%
	その他	・見学は希望しなかった。					
2-3 園の目標や方針についての説明には		32	24	4	1	1	0
		52%	39%	6%	2%	2%	0%
	その他						

2-4 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	40	22	0	0	0	0
	65%	35%	0%	0%	0%	0%
その他						
2-5 保育園での1日の過ごし方についての説明には	37	21	3	0	1	0
	60%	34%	5%	0%	2%	0%
その他						
2-6 費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	38	20	1	1	2	0
	61%	32%	2%	2%	3%	0%
その他						

問3 保育や行事の年間計画について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
3-1 年間の保育や行事のについての説明には	38	20	1	1	2	0	
	61%	32%	2%	2%	3%	0%	
その他							
3-2 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	37	19	3	0	3	0	
	60%	31%	5%	0%	5%	0%	
その他	・満足していたので、あまり要望した事がないです。まだ入園して1年目なので、活かされているかどうか分かりません(複数)。						

問4 日常の保育内容について【遊び】		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
4-1 クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	41	18	0	0	3	0	
	66%	29%	0%	0%	5%	0%	
その他							
4-2 子どもが戸外遊びを十分しているかについては	41	17	2	0	2	0	
	66%	27%	3%	0%	3%	0%	
その他							
4-3 園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	38	20	0	1	3	0	
	61%	32%	0%	2%	5%	0%	
その他	・お迎え時に少しどんなおもちゃがあるか見るくらいで、どんなおもちゃがあるか分かりません。						
4-4 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	38	17	2	1	4	0	
	61%	27%	3%	2%	6%	0%	
その他							
4-5 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	39	19	1	1	2	0	
	63%	31%	2%	2%	3%	0%	
その他							

4-6遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	33	25	1	1	2	0
	53%	40%	2%	2%	3%	0%
その他						

問4 日常の保育内容について【生活】について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
4-7 給食の献立内容については	46	15	0	0	1	0	
	74%	24%	0%	0%	2%	0%	
その他							
4-8 お子さんが給食を楽しんでいるかについては	44	11	4	1	2	0	
	71%	18%	6%	2%	3%	0%	
その他	・楽しんでいるかはわからないが、たくさんこぼしているが、食べている量は足りているのか疑問。						
4-9 基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	36	23	2	1	0	0	
	58%	37%	3%	2%	0%	0%	
その他							
4-10 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	40	22	0	0	0	0	
	65%	35%	0%	0%	0%	0%	
その他	・どのような対応がされているか、説明を受けたことはありません。						
4-11 おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	35	14	3	0	1	9	
	56%	23%	5%	0%	2%	15%	
その他	・おむつがはずれていたのだから分らない。まだおむつはずしはしていません。						
4-12 お子さんの体調への気配りについては	35	23	4	0	0	0	
	56%	37%	6%	0%	0%	0%	
その他							
4-13 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	37	14	6	3	2	0	
	60%	23%	10%	5%	3%	0%	
その他	・ケガをしたことが今の所ない。						

問5 保育園の快適さや安全対策などについて		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
5-1 施設設備については		26	25	11	0	0	0
		42%	40%	18%	0%	0%	0%
	その他						
5-2 お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては		31	31	0	0	0	0
		50%	50%	0%	0%	0%	0%
	その他						
5-3 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については		25	23	8	5	1	0
		40%	37%	13%	8%	2%	0%
	その他	・よく知りません。					
5-4 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については		32	25	2	3	0	0
		52%	40%	3%	5%	0%	0%
	その他						
問6 園と保護者との連携・交流について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
6-1 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については		28	29	4	0	1	0
		45%	47%	6%	0%	2%	0%
	その他						
6-2 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については		41	20	0	0	1	0
		66%	32%	0%	0%	2%	0%
	その他						
6-3 園の行事の開催日や時間帯への配慮については		41	20	0	1	0	0
		66%	32%	0%	2%	0%	0%
	その他						
6-4 送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については		31	26	5	0	0	0
		50%	42%	8%	0%	0%	0%
	その他						
6-5 お子さんに関する重要な情報の連絡体制については		35	21	3	2	1	0
		56%	34%	5%	3%	2%	0%
	その他						
6-6 保護者からの相談事への対応には		39	18	3	1	1	0
		63%	29%	5%	2%	2%	0%
	その他						
6-7 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については		44	13	1	0	4	0
		71%	21%	2%	0%	6%	0%
	その他						

問7 職員の対応について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
7-1 あなたのお子さんが大切にされているかについては		39	19	2	1	1	0
		63%	31%	3%	2%	2%	0%
	その他						
7-2 あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては		44	16	2	0	0	0
		71%	26%	3%	0%	0%	0%
	その他						
7-3 アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については		27	18	0	0	17	0
		44%	29%	0%	0%	27%	0%
	その他	・アレルギーや障害のある子ではないため、配慮が足りているかは分かりません。					
7-4 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては		38	21	2	1	0	0
		61%	34%	3%	2%	0%	0%
	その他						
7-5 意見や要望への対応については		37	21	1	1	2	0
		60%	34%	2%	2%	3%	0%
	その他	・内容によって異なる。					

問8 保育園の総合的評価について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度		35	25	1	0	1
		56%	40%	2%	0%	2%

問9 保育園への意見・要望など

問1 保育園の保育目標・保育方針について

- ・日程の調整はもちろんの事、見学へ行った時に実際に生活しているスペースで遊ばせてもらいました。
- ・見学の時の対応がとても良かったので、第一希望にしました。
- ・説明を受けている間、別の先生が子ども見てくれて助かった。

問2 入園する時の状況について

- ・丁寧かつ親切に案内して頂いた。見学中在園の子供があいさつしてくれて好印象。
- ・詳しく1日の流れ(過ごし方)について説明があると親としては安心する。
- ・特に費用に関する説明はなかったが、食い違いになることはなかった。

問3 保育や行事の年間計画について

- ・年初に年間スケジュールを出されるので、休暇を調整しやすい。年間スケジュールからブレることはほぼない。
- ・日常の保育も色々とり入れて行っていただいている満足しております。行事もたくさんあって充実しています。
- ・行事のたびにアンケートをとって意見を集めて公開、改善して下さる。

問4. 1 日常の保育内容について【遊び】

- ・園内での活動はとても充実しているように感じる。製作やリトミック、英語教室、体操教室…と集団での活動と、自由遊びと、バランスが良いと思います。
- ・同じクラスの友だち、先生はもちろん、他のクラスの子や先生とも関わりあっていて、良いと思います。赤ちゃんへやさしくしようとか、お兄さんお姉さんへの憧れなど子どもから感じます。

問4. 2 日常の保育内容について【生活】

- ・毎日何を食べたか話してくれ楽しんでいる。3才になって、給食の先生とクッキングという食育の時間を作ってくれて、クッキーを自分で作って嬉しそうでした。・完食しているので、おいしく楽しく食べていると思います。
- ・園でのトイレトレーニングがしっかり行われたおかげで、家でも自然と出来るようになり助かりました。

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

- ・門扉のガタつき、門扉の鍵を閉めない人に注意してほしい。・駐車場が少ない。前が工場。
- ・園庭がせまい。園を出てすぐ車や大きなトラックが通る環境であること、だけが不満です。
- ・アタマジラミが流行しましたが、先生の対応がすばらしかったです。情報提供、予防策等。・室内が寒すぎたり、逆に暑すぎと感じることが結構ある。

問6 園と保護者との連携・交流について

- ・毎月の園だよりは読むのを楽しみにしている。行事前にも用紙で案内がある。
- ・病気の時はすぐに電話連絡をしていただいている。地震があると、「園児は全員無事」とのメール連絡がある。
- ・担任でなくても、どの先生に何を聞いても対応していただけるのがありがたいです。

問7 職員の対応について

- ・担任の先生以外にも子どもの事をよく知っていて誰でも話しやすい。
- ・おとなしいので見すごされがちです。活発な子に目が行き、取り残される、そんな事が何度もありました。
- ・毎月、子ども1人1人に先生方からメッセージがおたよりに載っていて嬉しいです。

保育園への意見や要望

- ・先生方はみなさん一生懸命でとても好感がもてる。ヘリ下りすぎるほど丁寧な対応が多いので、必要ないかなと思う。若い新任の先生が多く、中堅やベテランの先生がいないのが気になる。
- ・外門の鍵のパスワードを定期的に変えられたらもっと安心です。
- ・おやつ後の園庭遊びの時間、もう少し見る先生の人数を増やしたほうが良いと思います。たまに気が抜けている先生も見つけられます。

■保育園に通っている子どもについて(保育園に2人以上通っている場合は、下の子ども)

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
1	12	18	14	10	20
1%	16%	24%	19%	13%	27%

(注記)回答者数60人、子ども数75人、2児世帯15世帯30人

利用者本人調査の結果

調査の概況
<p>調査対象：聞き取りは登園した子ども3人を対象とし、保育状況の観察は0歳児から5歳児までの各クラスを対象としました。</p> <p>調査方法：訪問調査の日（1月26日（木）、27日（金））、聞き取り及び観察方式で実施しました。聞き取りは、3～5歳児のうち、それぞれ1人の子どもの計3人と面談して行いました。また、評価調査者2人が、それぞれのクラスを訪問し、保育状況を観察し、併せて評価調査者1人が、近くの鶴見川の土手までの散歩に同行し、行き帰りや行く先での子どもの動きや表情を観察しました。</p>
保育の様子・こどもの様子等結果の特徴
0歳児組
<p>テーブルを囲んで3時のおやつです。6人の子どもに2人の職員がつき、子どもはこぼれても散らからないように食事用エプロンが受け皿になります。おやつは、手づくりのココアクッキーと牛乳で、名刺半分大のクッキーを小さく割って食べています。「もぐもぐしてね。」と職員が声をかけ、自分で食べる子どもがほとんどです。職員が傍らに座り、コップを支えてもらっている子どももいます。ごっくんと飲みました。「まだ残っているよ、ピカピカしてね。」「うん～えん。」と言葉を発して応える子どももいました。飲み終わり、もっと欲しいのでしょうか、コップを差し出している子どもがいました。皆な飲み終わりました。口の周りにミルクが残っています。「お口、拭き拭きしましょう。」とウエットティッシュで、職員は口の周りを拭き取っていました。</p>
1歳児組
<p>17時半を過ぎ、迎えの保護者が見え始めました。保育時間の長い子どもたちは、職員と一緒に夢中になって遊んでいます。「カエルさん、クワックワッ。」と職員の音頭で5、6人の子どもが手を横に部屋の端から端まで跳びはねています。「かにさん。」「みんなかにさんが好きね～。」と横歩きで、何回も部屋を往復しています。「今度はウサギさん、ハイポーズ。」と耳に手を寄せ、ぴよんぴよんと飛び跳ねています。次は亀さん「よーいドン。」という、這い這いしながら職員と一緒に部屋いっぱい横切っています。次は、ゴロンゴロンしようと体をぐるぐる回しながら部屋を往復しました。「頑張れ頑張れ。」「〇〇ちゃん上手上手。」と、職員が褒めています。職員と一緒に、精いっぱい体を動かしていました。終わると、職員の背中に乗ったり、膝の上に乗ったり、抱き締められたりして、皆満足げでした。</p>
2歳児組
<p>砂場で、子どもたちが日よけ帽子をかぶり遊んでいます。バケツを砂でいっぱいにして、砂場の端に並べ、シャベルでトントン平らにしています。数人の子どもがトントンと繰り返し楽しんでいます。作った山を掘り起こしている子どもが何かを見つけ、「いいでしょ、ほら。」と職員に見せています。小粒の雨がパラッパラッと降ってきました。シャベルで砂を掘り起こしていた子どもがジョウロを逆さにし、シャベルの上にジョウロを被せました。傘に見立てて高くして、「雨が降ってきた。」「どこへ行くの。」「お家に帰らなくては。」と、次々に数人の子どもが傘に見立てたジョウロを持って歩きまわっています。園庭では、他の2歳児グループが大縄跳びをしています。2人の職員が綱の両端を持ち、ゆっくりまわしています。子どもが縄に近づくと、職員が「セイノ～ぴよん。1-2-3-」と掛け声をかけています。子どもたちは、一生懸命縄跳びに挑戦していました。</p>
3歳児組
<p>一緒に昼食を食べました。調理師が用意した食事を職員が声かけ準備して、3つの長テーブルで、20人ほどの子どもが一斉に「いただきます。」と言って食べ始めました。メニューはご飯、シチュー、黄粉をまぶしたマカロニ、リンゴなどです。子どもが、自分の好きなものは、ケーキやチョコレート、ハンバーグと言っていました。お代わりは自由で、リンゴやご飯のお代わりをしていました。職員がテーブルの真ん中で一緒に食べながら、子どもたちの食事の様子を見守っていました。園庭で、4歳児や5歳児と一緒に、滑り台に上がったり、手をつないだり、ちょこちょこと歩いたり、ままごと遊びをしていました。部屋では、ぬり絵をしたり、友だちと一緒にパズルで遊んでいました。</p>
4歳児組
<p>好きな遊びは、ぬり絵やおもちゃのハンバーグ作りです。ハンバーグを作る材料のポテトやトマト、肉、パン、レタスなどを盛んに手に持って説明していました。テーブルの上で作っていましたが、テーブルの脚が曲がっていたためか、子どもが力を入れたら足が畳んでしまい、上に乗っていたハンバーグのパンが材料と一緒に床に落ちてしまいました。パンダゲームをやっていた子どもは、パンダに書かれた文字で、文章を作っていました。曲げたり、通したり、つないだりできるブロックで頭にかぶる王冠を作っている子どもがいました。多くのブロックを根気よくつなぎ、いろいろなものを作っていました。4歳児は体も大きく、落ち着いて職員の話聞いていました。</p>

5歳児組

散歩と一緒に行きました。職員2人が引率し、近くの鶴見川の土手まで15分位の散歩です。出かける前に職員から散歩のやくそくを話し、トイレに行っておくこと、手をつないで歩くこと、信号は手を挙げて渡ること、仲良く遊ぶことを唱和していました。歩き始めると大きな自動車や普通車が往来が多く、車がきたら安全なところで立ち止り、通過を待っていました。交差点では、信号が青に変わるまで待ち、変わると手を挙げて渡っていました。土手に着くと、再度遊びのルールを子どもたち全員で唱和し、遊び始めました。6個の風船ボールをけて遊ぶ子どもやかっこをする子ども、筐の間から虫の蛹を取る子ども、青空の雲の形を観察する子どもと、思い思い20分くらい遊んで、職員が子どもの人数を確認してから、帰路につきました。午後4時頃から、鉄棒の練習を始めました。男性の職員が鉄棒の下で、子どもを支えながら、怪我をしないように注意し、前転や逆上がりの練習をさせ、うまくできた時は、褒めて自信を持たせるように気を配っていました。